



2007年度上半期の講座をご案内します。

飯田アカデミア

第33講座 4月14日(土)・15日(日)

地域歴史学の試み

ベトナムの小さなムラの農協の歴史

講師：桜井由躬雄さん(放送大学客員教授)

ベトナムの一小村の老人200人の聞き取りをもとに、農協の形成と解体、現在の課題を考えます。食べるための農協活動と、稼ぐための個人経営が、わずか2000平米の農地の上に分業化されている様子を紹介します。



第34講座 5月19日(土)・20日(日)

農家の建築と養蚕

講師：藤井恵介さん(東京大学准教授)

日本の農家では、養蚕はもっとも有力な副業でした。群馬県では、特に近代に入ってから、繭の生産量が拡大して農家の形が大きく変わっていきました。江戸時代から昭和初期にかけての農家の形の変化をたどります。

第35講座 6月23日(土)・24日(日)

地域の蘭学と飯田の文化

講師：青木歳幸さん(佐賀大学教授)

第36講座 7月21日(土)・22日(日)

日本社会と相撲

講師：新田一郎さん(東京大学教授)

■時間 1日目(土) 13:30～17:00
2日目(日) 10:00～14:30
※90分の講義を4回、2日間にわたって行います。
■会場 飯田市歴史研究所
■募集人員 各講座30人

■受講料 資料代として500円(2日間分)
■申込み 電話、ファクシミリ、Eメールで、お申込みください。
※ファクシミリ、Eメールでお申し込みの場合は、住所・氏名・電話番号を明記して下さい。

歴研地域史講座

地域を学ぶ 飯田・下伊那の歴史

今年度から、飯田・下伊那の歴史を題材とした新たな講座をスタートします。最新の地域史研究の成果を、研究所スタッフがお話しします。



①「養蚕が私たちの暮らしに与えてきたもの」

4月27日(金) 講師：鬼塚博 研究員

戦前の飯田・下伊那は、全国で最も養蚕が盛んな地域でした。養蚕という営みは、この地域の暮らしに様々な影響を与えました。このことを、個々の農家の経営、女性、地域社会、世界経済など様々な視点で、皆さんと一緒に考えたいと思います。

②「座光寺地区の本棟造と養蚕民家」

5月11日(金) 講師：金澤雄記 研究員

座光寺地区の本棟造や養蚕民家の調査成果を、さらに建築学的に掘り下げた考察を行い、建物単体だけでなく町並みにも着目したいと思います。養蚕文化をダイレクトに伝える建物や町並みの価値や魅力を再認識していただければ幸いです。

③「上飯田と飯田町研究の課題」

6月15日(金) 講師：多和田雅保 研究員

④「明治期座光寺における学校運営と地域」

7月13日(金) 講師：多和田真理子 調査研究員

⑤「飯田城下図を読む」

8月3日(金) 講師：吉田伸之 研究部長(東大教授)

■時間 午後7時～8時40分
■場所 飯田市歴史研究所
■申込み 不要

※資料代が必要な場合があります。

平成19年度の事業概要

今年度計画している各種事業の概要をお知らせします。

調査研究活動

○基礎共同研究

研究・教育・市誌編さんなど、歴史研究所のあらゆる活動の基礎となる歴史資料について、6つのテーマに基づいた長期的な共同調査を行います。集めたデータは市民の皆さんや研究者の方々が利用しやすいように整備・公開します。いずれも飯田市域・下伊那郡町村域に多く存在する「単位地域」(人々の生活圏・生活世界としての実体ある地域)を基本枠として行います。

A 下伊那地域における近世・近現代史料の所在状況に関する悉皆的研究

B 聞き取りによる史料調査

C 下伊那地域における近世・近現代史料の拠点型・現状記録調査および採集調査

D 飯田・下伊那地域における歴史的建造物の所在状況および現状に関する悉皆的調査研究

E 地域史研究における学校史料の保存と利用

F 下伊那の戦時体制資料調査

○基礎研究

研究員・調査研究員・顧問研究員などが、それぞれの関心に基づいてテーマを設定し、飯田・下伊那の歴史に関する専門研究を行います。研究成果は出版物や研究会など、さまざまな手段を通じて市民の皆さんに還元します。

出版活動

○『歴史研究所年報』第5号 ○松尾森本家調査報告書

○市制70周年記念刊行物『みる・よむ・まなぶ 飯田・下伊那の歴史』、『聞き書き 飯田市の70年(仮題)』

各種講座等

○研究集会

年に1度研究集会を開催し、シンポジウムと地域史研究の成果報告を行います。

今年度の予定

8月24日(金)～26日(日)

シンポジウム「地域の歴史をひらく」

基調講演講師:板垣雄三さん(東大名誉教授)

○飯田アカデミア

第一線で活躍する歴史学者が研究成果をわかりやすくお話しします。→詳細は1ページ

○歴研地域史講座

飯田・下伊那の地域史研究についての最新成果を、歴史研究所のスタッフがお話しします。→詳細は1ページ

○ゼミナール

実践的に歴史を学ぶ、ゼミ形式の歴史講座。平成18年度に引き続き近世史ゼミ、近現代史ゼミ、現代史ゼミを開講します。→詳細は3ページ

○月例研究会

研究所のスタッフなどによる研究報告を公開で行い、地域の歴史について皆さんとともに考えます。

その他

○歴史研究活動に対する助成

平成18年度と同様飯田・下伊那地域を対象とするオリジナルな歴史研究の成果に対して、審査の上助成金を交付します。→詳細は3ページ

月例研究会

月に1度、研究所スタッフが研究内容を報告し、参加者が自由な意見交換をする研究会です。事前の申し込みは不要ですので、気軽にご参加下さい。

座光寺地区の本棟造と養蚕民家

昨年秋から座光寺地区で行った、本棟造や養蚕民家の民家調査の中間報告を行います。座光寺地区には約30件の養蚕民家と、約10棟の本棟造が残っています。養蚕民家といっても多様な建築がありますので、その特徴を整理し、分類してお話しします。また従来存在した本棟造の建物に、養蚕が与えた影響も興味深いものがあります。実際に養蚕のご経験がある方々も多いことでしょうか、ご意見をお伺いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

■報告者 金澤雄記 研究員

■日時 4月21日(土) 午後2時～4時

■場所 座光寺公民館

明治期における村立小学校の運営

—座光寺村の史料から—

明治時代、村の予算の大半を占めたのは教育費でした。村にとって小学校の運営がいかに重要だったかがわかります。当時、小学校の運営に関して村ではいかなる議論がなされていたのでしょうか。座光寺村を事例にとり、明治20年代の小学校に高等科が設置される過程を、村会議事録を中心に追ってみたいと思います。

※2月に予定していた報告を日程を変更して行います。

■報告者 多和田真理子 調査研究員

■日時 5月26日(土) 午後2時～4時

■場所 座光寺公民館

募集

著書 論文

飯田歴研賞
2007

飯田・下伊那の地域史研究における優れた著書・論文を表彰します。6月末日までに推薦作品を歴史研究所までお送りください。自薦・他薦を問いません。

■著書部門:2006年度発行の刊行物(自費出版物も含む)

■論文部門:2006年度発表の論文

歴史研究所で審査を行い、8月の研究集会で表彰します。

歴史研究活動を助成します

申請研究募集!

歴史研究所では、飯田・下伊那の素材を用いた、歴史研究活動を助成します。ぜひご応募ください。

- ◆対象とする専門分野 歴史関係全般
- ◆応募資格
 - 飯田市内・下伊那郡内に住所を有する個人または団体
 - 大学の卒業論文・修士論文を作成するための研究を行う者
- ◆助成金額
 - 市民・郡民および卒業論文 10万円以内
 - 修士論文 15万円以内
- ◆申請手続
 - 提出書類 研究計画書
 - 提出期間 2007年6月30日(土)まで
- ◆助成の条件
 - 飯田・下伊那地域の素材を用いたオリジナルな歴史研究の成果であること。
 - 新たに得た史料所在情報については、研究所に提供すること。

- 研究成果の発表を、所定の時期に研究所で行い、併せて研究所の刊行物を通じて公表することを原則とすること。
- ◆審査方法 歴史研究所研究部が行う。
- ◆研究論文等の提出
 - 研究論文等完成後、速やかに(2008年2月末日まで)論文等の複製を研究所に提出する。ただし、修士論文について、研究の初年度の場合は、中間報告書を2008年2月末日までに提出する。
- ◆助成金の交付
 - 助成金の交付は、助成の条件などに関して必要な審査を行い、交付することが適当と認められたものについて、2008年3月までに行う。

※募集の詳細については、直接お問い合わせいただくか、歴史研究所のホームページをご覧ください。

平成18年度 助成対象研究

- 山浦亜佳梨(東京外国語大学・飯田市下久堅出身)
「境界をめぐる村の対立
—信濃国伊那郡天竜川の「弁天公事」を素材として—」
- 座光寺古文書研究会(代表今村善興)
「史実検証のための日記記述の活用方法
—高岡杜木伐採一件と旧市場商家変遷を例にして—」
- 壬生雅穂(下伊那郡豊丘村)
「下伊那地方におけるミチューリン農法の受容と衰退」
- 飯伊婦人文庫(代表吉田五十鈴)
「みんなとだから読めた!
—聞き書きによる飯伊地方の読書会の歴史—」



平成18年度の研究発表会のようす

歴研ゼミナール受講生募集!

実践的に歴史を学ぶ、ゼミ形式の歴史講座です。4月からの受講生を募集します。初心者の方でも大歓迎です。

日 時：隔週、午後7時～8時40分
場 所：歴史研究所(上郷自治振興センター2階)
申込み・問い合わせ：歴史研究所 0265(53)4670

◎近世史ゼミ 近世下伊那の民衆生活史	◎現代史ゼミ -英語文献講読- グローバルゼミと地域社会	◎近現代史ゼミ 地域社会史入門-飯田町の記憶を探る-
担当者：多和田雅保 研究員 開催日：隔週火曜日 (初回4月10日) 江戸時代の下伊那では、都市や農村に生きた民衆が地域の主人公でした。彼らの生活にまつわる史料の解読方法を学びながら、下伊那の歴史を探訪します。	担当者：鬼塚 博 研究員 開催日：隔週水曜日 (初回4月18日) グローバル化する地域社会を、飯田の地域の資料と英語文献を使いながら考えます。主婦、教師、調理師、新聞記者、デザイナーなど様々な人達が参加しています。	担当者：田中雅孝 調査研究員 開催日：隔週木曜日 (初回4月12日) 市井に暮らす庶民の「記憶」に耳を傾けることから地域史の方法を探るため、戦前から戦後にかけて飯田町で生活した人々からの「聞き書き」調査を進めます。
2月・3月に行ったゼミの内容		
2月6日 三ツ井水論 2月20日 大平部落の開発 3月6日 飯田藩における町下代の役割(上)	ナショナリズム 2月7日 『エドワード・サイード OUT OF PLACE』 3月21日 Positive and Negative 1 3月7日 Positive and Negative 2	2月8日 『飯田町の暮らし3』編集 2月22日 同 上 3月8日 次年度計画

新刊紹介

『下伊那のなかの満洲』
聞き書き報告集5

旧満州から帰国した方からの聞き書き報告集です。八路軍に随行した看護婦、開拓花嫁、開拓農民、残留婦人など8人の方の語りを収録しています。日本を離れる前の町や村の様子、逃避行、帰国後の生活、戦後の周囲の人々の変化などが語られています。



定価500円
満蒙開拓を語りつぐ会編

聞き書き『飯田町の暮らし3』
—大正昭和期・飯田町の社会史—

近現代史ゼミナールでは、大正末期～昭和初期に飯田町で暮らした方々からの聞き取りをしています。今回は、町の様子ほかに、運送業、元結、水引、花柳界、半生菓子業界について、興味深く語られています。
※『飯田町の暮らし』1および2を増刷しました。



定価500円
近現代史ゼミナール編

販売所 歴史研究所、市役所秘書広報文書課行政資料コーナー
(郵送希望の方は、実費にて承ります。)

問い合わせ 飯田市歴史研究所
☎ 0265-53-4670

歴研日誌

2月

- 1日 三穂小学校史料調査
- 3日 箕瀬町一丁目自治会長より聞き取り調査
- 6日 近世史ゼミ
- 7日 上郷別府原常吉氏所蔵史料借用調査
追手町小学校所蔵史料調査・現代史ゼミ
- 8日 箕瀬町二丁目自治会長より聞き取り調査
座光寺史料調査会・近現代史ゼミ
- 10日 箕瀬町三丁目自治会長より聞き取り調査
- 13日 竜丘歴史的建造物調査
- 14日 追手町小学校史料調査
- 15～18日 旧南信濃村行政資料調査
- 17日～18日 飯田アカデミア第31講座「描かれた近世都市」
(講師杉森哲也さん・放送大学助教授)
- 16日 座光寺小学校所蔵史料調査
- 20日 上郷飯沼田中義訓氏より渋紙文書寄贈・近世史ゼミ
- 21日 現代史ゼミ
- 22日 座光寺史料調査会・川路歴史的建造物調査・近現代史ゼミ
- 27日 追手町小学校所蔵史料調査

3月

- 1日 箕瀬町一丁目大野英夫氏聞き取り調査
- 4日 建築士会町歩き
- 6日 管理計画課資料調査・近世史ゼミ
- 7日 松尾支所所蔵史料調査・現代史ゼミ
松尾明塩沢昭さん聞き取り調査
- 8日 上郷別府原常吉氏所蔵史料所在調査・借用調査
上郷宮内生さん聞き取り調査・近現代史ゼミ
- 10日 『下伊那のなかの満洲⑤』発行
- 11日 第35回「モーニングウォーク」ガイド(金澤研究員)
- 15日 追手町小学校所蔵史料調査
- 17日 助成申請研究発表会
- 17日～18日 飯田アカデミア第32講座「中世一揆の世界」(講師久留島典子さん・東大史料編纂所教授)
高森町宮下金善氏所蔵史料調査(東京外国語大学吉田ゆり子ゼミ主催)に参加
- 20日 追手町小学校所蔵史料調査
『飯田町の暮らし3』発行
- 24日 読書会「古島敏雄の地方史研究法に学ぶ」
- 29日 三穂小学校より史料移管
- 30日 追手町小学校所蔵史料調査

■ 継続調査 森本信正氏所蔵史料・下殿岡区有文書・市瀬繁文書・岡田昭夫氏所蔵史料・上久堅小学校移管史料・座光寺地区歴史的建造物調査

4月・5月の催事スケジュール

4月	2007	5月
日	1	火
月	2	水 現代史ゼミ
火	3	木
水	4	金
木	5	土
金	6	日
土	7	月
日	8	火 近世史ゼミ
月	9	水
火 近世史ゼミ	10	木 近現代史ゼミ
水	11	金 歴研地域史講座②
木 近現代史ゼミ	12	土
金	13	日
土 アカデミア	14	月
日 アカデミア	15	火
月	16	水 現代史ゼミ
火	17	木
水 現代史ゼミ	18	金
木	19	土 アカデミア
金	20	日 アカデミア
土 月例研究会	21	月
日	22	火 近世史ゼミ
月	23	水
火 近世史ゼミ	24	木 近現代史ゼミ
水	25	金
木 近現代史ゼミ	26	土 月例研究会
金 歴研地域史講座①	27	日
土	28	月
日	29	火
月	30	水 現代史ゼミ
	31	木

開所日 開所時間 午前9時～午後5時
休所日 休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日